

## Ⅲ. 自己改革のテーマならびに実践計画

### テーマ1 東京農業の振興を踏まえた農業者の所得増大

農業者の所得増大と生産量拡大に向けた取組みとして営農指導事業を強化し、農畜産物の生産支援と販路拡大を図ります。また、行政等の関係各機関と連携し、総合事業のメリットを生かした農業支援を行います。

- ① 各農産物直売所を拠点とした地産地消を基本とする、販売事業の強化を図ります。また、地元野菜のブランド化や特産品の発掘・開発、JA主導による第6次産業化の促進など、付加価値を高める施策の検討を行うとともに、学校給食への出荷量増大に努めるなど、都市農業の特徴を活かした多様な販路を有効手段とする販売力強化を目指します。
- ② 営農指導事業の強化を目的とした、「営農指導事業機能・体制強化方針」を策定します。また、さらなる生産支援を行うため、担当者の増員と未利用農地の耕作支援や農機具の出張メンテナンスサービスを主とした営農支援事業を新たに展開しさらなる農業振興を図ります。
- ③ 農業を支える新たな仕組みづくりとして、総合事業のメリットを活かしながら行政等の関係各機関と連携を図るとともに、JA内のすべての部門で農業者の所得増大と生産量拡大に貢献することができるかの検討をおこないます。

## テーマ2 地域貢献活動による都民理解の醸成

「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、地域とのつながりを強化し、地域の活性化にJAグループが一翼を担います。また、地域貢献活動を通じて、農業を身近に感じてもらえるよう、広報活動を強化し、都民理解の醸成を図ります。

- ① 農業を通じて行える豊かで暮らしやすい地域づくりを実現するため、地域貢献のありかたを創造し構築します。
- ② 農業体験などの食農教育や高齢者生活支援を積極的にサポートし、JAの事業や農業への理解促進を図ります。
- ③ 様々な広報手段を活用してJAの事業内容や活動内容を広く情報発信し、取引の無い世代（若年層等）への積極的なアピールを行います。
- ④ 地域住民と一体となり地域の活性化を目指す「地域コミュニティ事業」について、職員間の情報共有化、動員人数の拡大や新たな事業の検討、全職員で実施する大きなイベントの開催などを積極的に開催してまいります。



あぐりスクール（親子農業体験）

### テーマ3 組合員と共に歩む組織づくり

J Aは組合員と徹底した話し合いを行い、組合員のニーズを的確に把握し、組合員の事業利用の拡大を図るとともに、地域農業と協同組合の理解を深める活動を展開します。

- ① 店舗単位等での懇談会や事業報告会を開催し、組合員にJ Aの情勢を理解いただき、話し合いを通じてニーズを的確に把握し事業運営に反映させます。
- ② 正組合員の加入促進を積極的にすすめるとともに、組合員としてのメリットを最大限享受できるような仕組みを構築します。また、ご利用いただきやすいJ Aにするため、施設や環境の整備に努めます。
- ③ 組合員にJ Aの事業や地域農業への理解を深めていただくため、また組合員が知りたい様々な知識を深めていただけるよう、講師を招いての各種セミナーや勉強会等を開催する組合員学習活動を展開します。
- ④ 積極的にJ Aの事業や活動に参加していただけるよう、各組合員組織を整備して、更なる活性化を図ります。また組合員の世代間や地域間の交流を目的としたイベントを企画し、組織基盤の強化を目指します。



J A共済小・中学生書道コンクール出品作品展



五日市支店盆踊り大会

## テーマ4 JA自己改革の実践を支える経営基盤の強化

「農業者の所得増大」、「都民理解の醸成」、「組合員と共に歩む組織づくり」のJA自己改革の着実な実践に向け、JA経営基盤を一層強化します。

- ① JA自己改革の厳格な進捗管理を徹底し、より具体的な施策を盛り込んだ単年度計画や工程表を用いたPDCAサイクルによって着実に取り組みます。
- ② JA自己改革を根底から支える経営基盤を揺るぎないものにするために、各連合会と連携をはかり事業運営体制を最適なものといたします。
- ③ 体系的な研修を実施し、JA自己改革の実践とその変革に対応できるスキルを備えた職員の育成をおこないます。
- ④ 特定個人情報（マイナンバー）に対応した情報セキュリティの強化や、BCP（事業継続計画）の確立など、一層のコンプライアンス態勢強化に努めて健全経営を図ります。



あきる野夏祭り出店（青壮年部）



健康づくり大会（盆踊り大会）